

Contents

002 Introduction

- 002 OBAYASHI コーポレートレポートについて
- 003 基本理念・方針・戦略

Section 1 **グループ概要****004**

- 005 トップメッセージ



- 010 大林グループのあゆみ
- 013 大林グループの誇りと強み
- 015 大林グループの事業概要
- 017 グローバルネットワーク
- 019 主要パフォーマンス

Section 2 **実現したい未来****021**

- 022 価値創造プロセス
- 024 価値創造の原動力
- 026 価値創造事例：カーボンニュートラル
- 027 価値創造事例：ウェルビーイング

Section 3 **成長戦略****028**

- 029 Our future
- 030 マテリアリティとKPI
- 032 中期経営計画
- 035 フィナンシャルレビュー
- 040 5つの事業分野
 - 042 国内建設事業
 - 045 海外建設事業
 - 047 開発事業
 - 048 グリーンエネルギー事業
 - 050 新領域ビジネス

Section 4 **価値創造を支える仕組み****051**

- 052 環境
- 059 人材マネジメント
- 067 安全
- 069 人権
- 071 サプライチェーンマネジメント
- 074 品質
- 075 技術・知的財産
- 078 DX

Section 5 **ガバナンス****082**

- 083 社外取締役ダイアログ



- 087 役員紹介
- 091 社外監査役メッセージ
- 092 経営体制
- 099 取締役会議長ダイアログ



- 103 リスクマネジメント
- 107 コンプライアンス
- 109 ステークホルダーエンゲージメント

Section 6 **データセクション****110**

- 111 財務サマリー
- 113 グループネットワーク
- 114 社会貢献
- 115 会社概要
- 116 株式の状況
- 117 ESG外部評価／編集後記

OBAYASHIコーポレートレポートについて

大林グループは、株主・投資家をはじめとするすべてのステークホルダーの皆さまに、当社グループの価値創造プロセスを分かりやすくお伝えするとともに、皆さまとの建設的な対話の機会を創出することを目的として、2012年より「OBAYASHIコーポレートレポート」を発行しています。

ステークホルダーの皆さまとのさらなる対話に役立ちましたら幸いです。

OBAYASHIコーポレートレポート2024のポイント

1 役職員の「声」の充実

大林グループの中長期ビジョンや資本政策、事業戦略、ガバナンスなどをより理解いただくために、役員や部門長のインタビューやダイアログを充実

- トップメッセージ → P. 05
- フィナンシャルレビュー → P. 35
- VOICE
 - 国内建築 → P. 43 国内土木 → P. 44
 - 環境 → P. 52 人材マネジメント → P. 59
 - 技術・知的財産 → P. 75 DX → P. 78
- 社外取締役ダイアログ → P. 83
- 社外監査役メッセージ → P. 91
- 取締役会議長ダイアログ → P. 99

2 株主・投資家から要望が高かった開示の充実

これまで、株主・投資家との対話の中で情報開示の要望が多くあった資本政策や、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)のシナリオに対する財務影響度、人材マネジメントと企業価値向上の関係について情報開示を強化

- 中期経営計画 → P. 32
- TCFD提言に基づく情報開示 → P. 54
- 人材ロジックツリー → P. 60

3 A4横型インタラクティブ版に仕様変更

パソコンやタブレットでも読みやすいA4横型に仕様を変更することで、

- コーポレートサイトへの移動
- ページ間の移動
- セクション間の移動

など、必要な情報・ページへのアクセス性を向上させ、ユーザーフレンドリーな閲覧環境を実現

ナビゲーションボタンの使い方

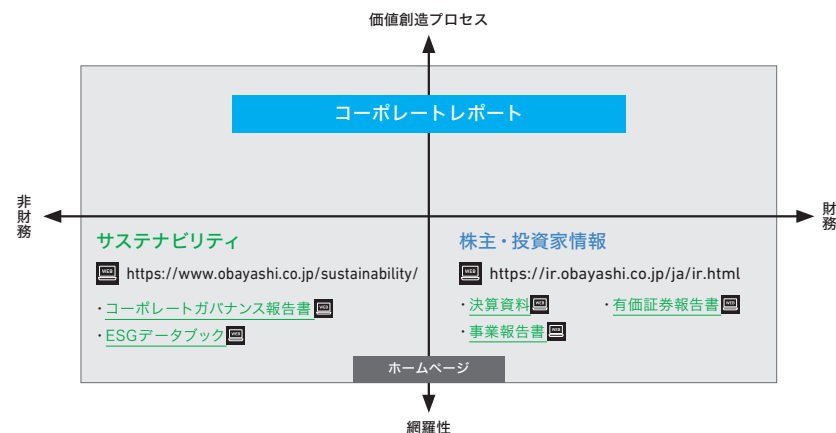
セクションタブ



ナビゲーションボタン



情報開示体系



編集方針

発行目的

本レポートは、大林組および大林グループの経営戦略や財務情報、非財務情報を一体的に開示し、事業活動全体をご理解いただくことを目的として発行しています。

対象期間

2023年度(2023年4月1日から2024年3月31日まで。一部2024年度の活動も掲載)

参考にしたガイドライン

経済産業省
「価値協創ガイダンス」
IFRS財団(旧 VRF)
「国際統合報告フレームワーク」
GRI(グローバル・レポーティング・イニシアティブ)
「GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード」

発行年月

2024年8月

将来の見通しに関する注意事項

本レポートには、大林組および大林グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれている場合があります。それらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を含んでいます。このため将来の業績は当社の見込みとは異なる可能性があります。

基本理念・方針・戦略

大林組基本理念

企業理念

大林組がめざす姿、社会において果たすべき使命

「地球に優しい」リーディングカンパニー

- 優れた技術による誠実なものづくりを通じて、空間に新たな価値を創造します。
- 地球環境に配慮し、良き企業市民として社会の課題解決に取り組みます。
- 事業に関わるすべての人々を大切にします。

これらによって、大林組は、持続可能な社会の実現に貢献します。

企業行動規範

企業理念の実現を図り、すべてのステークホルダーに信頼される企業であり続けるための指針

1 社会的使命の達成

- | | |
|-------------------|------------------|
| (1) 良質な建物・サービスの提供 | (4) 調達先との信頼関係の強化 |
| (2) 環境に配慮した社会づくり | (5) 社会との良好な関係の構築 |
| (3) 人を大切にする企業の実現 | |

2 企業倫理の徹底

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| (1) 法令の遵守及び良識ある行動の実践 | (4) 反社会的勢力の排除 |
| (2) 公正で自由な競争の推進 | (5) 適正な情報発信と経営の透明性の確保 |
| (3) ステークホルダーとの健全な関係の維持 | |

さんしん

三箴

創業以来、受け継がれてきた精神

良く

機関設備の完璧と卓越せる技能を緯とし、誠意懇切の下に最善の努力を経として織り出せる優良工作物の提供を期すること。

安く

優秀なる機械器具の応用、巧妙なる材料の購買、統制せる合理的の作業により実質価値豊富な工作物の廉価提供を期すること。

速い

斬新なる工法と卓越せる計画と周到なる設備と相俟ち、渾身の能力を發揮して凡ゆる時間的無駄を排除し、以って工期の短縮を期すること。

大林グループが目指す姿を実現するための方針と戦略

Obayashi Sustainability Vision 2050

「地球・社会・人」と大林グループのサステナビリティを実現

2040～2050年
の目標

脱炭素

+

価値ある空間・
サービスの提供

+

サステナブル・
サプライチェーンの共創

大林グループでは、さまざまな社会動向や当社グループを取り巻く事業環境の変化を捉え、経営基盤としてのESGや社会課題であるSDGsの達成への貢献を取り込み、当社グループ一体で「地球・社会・人」と自らのサステナビリティを同時に追求するため、長期ビジョン「Obayashi Sustainability Vision 2050」を策定しています。本ビジョンは、将来の持続可能な社会の実現を目標として2050年の「あるべき姿」を定義し、バックキャストの手法により、当社グループが取り組むべき2040～2050年の目標と事業展開の方向性を定めています。目標達成に向けては、具体的なアクションプランとKPI（数値目標）を設定し、取り組みを進めています。



<https://www.obayashi.co.jp/sustainability/vision.html>

大林グループ中期経営計画2022 / 中期経営計画2022 追補

『事業基盤の強化と変革の実践』（2022～2026年度）

「建設事業の基盤の強化と深化」「技術とビジネスのイノベーション」「持続的成長のための事業ポートフォリオの拡充」の3つを基本戦略とした5カ年計画を実施しています。

https://www.obayashi.co.jp/company/mid_term_plan.html

大林グループブランドビジョン

MAKE BEYOND つくるを拓く

<https://www.obayashi.co.jp/company/brandvision.html>